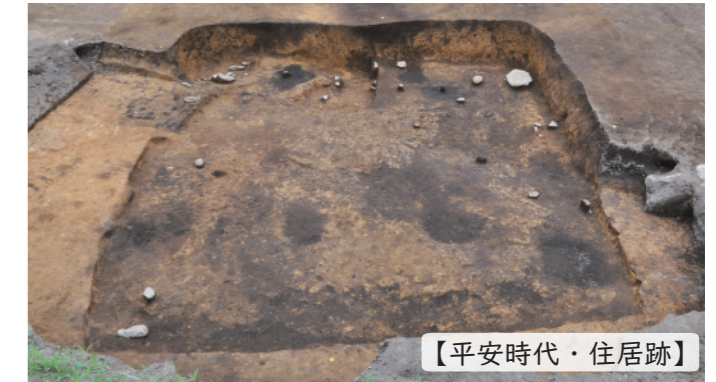


【現在の調査区・遺構分布状況】

**調査区② (盛土保存範囲) (工事済み)**  
 ・発見された遺構  
 縄文時代 竪穴住居跡 30軒以上  
 土坑・ピット 多数  
 平安時代 竪穴住居跡 3軒  
 土坑・ピット  
 平安時代～中世 炭焼窯 2基

**調査区③ (R5.7～9月調査) (工事済み)**  
 ・発見された遺構  
 平安時代 竪穴住居跡 5軒  
 掘立柱建物跡 4棟  
 土坑 ほか  
 平安時代～中世 炭焼窯 1基

**調査区① (現在調査中)**  
 ・発見された遺構  
 縄文時代 竪穴住居跡 多数  
 掘立柱建物跡  
 土坑・ピット  
 配石遺構  
 柄鏡形敷石住居  
 平安時代 竪穴住居跡 4軒  
 掘立柱建物跡 1棟  
 土坑 ほか  
 平安時代～中世 炭焼窯 1基



【平安時代・住居跡】

平安時代の竪穴住居跡は方形で、東壁または北壁にカマドが設けられています。住居内からは、食膳具である坏や皿、甕の他、金属製の紡錘車などが出土しています。

